

KGAニュース

'86春季号
昭和61年4月1日発行

目次

まず雰囲気づくりを.....	1	昭和61年度主催競技実施要領.....	8
我孫子ゴルフ倶楽部理事長 松本 榮造			
ルールQ & A.....	3	総会・理事会・委員会、コース・レート.....	10
日本ゴルフ協会規則委員長 浜口 五郎			
昭和61年度競技実施規定.....	5	昭和61年度分科委員会委員名簿.....	13
		月例競技成績表(昭和60年12月・61年1月).....	15
		月例(2月)、お知らせ.....	16

No. 14

理事長インタビュー

まず雰囲気づくりを

我孫子ゴルフ倶楽部理事長 松本 榮造

聞き手・KGA広報委員 杉山 通敬



——最初にゴルフ歴からお聞かせ下さい。
「戦後、間もなくからです。当時はほとんどのコースが進駐軍に接收されていましたから、時には不愉快な思いもしましたね。米軍関係の仕事をちょっとやっていた関係で、むこうの将校によく連れていってもらったわけですが、一度、仙石原でプレーしたとき、食堂に入ってくれないんですね。日本人はオフ・リミット。車まで将校が食事を運んできてくれましたけど、なんとも不愉快な思いをしました」

——当時は風呂にも入れなかったとか。

「コースによってはね。ま、我孫子の場合は接收をまぬがれたので、そんなこともありますか……」

——ご入会はいつですか。

「正確な年月日は忘れましたが、たしか昭和25年ごろだったと思います。会員の一人としてゴルフを楽しむために通っていたわけですから、気楽といえば気楽でした」

——約40年間、我孫子のクラブライフを楽しめてきて、昨年から理事長に就任されたわけですが、施政方針といってはいささか大袈裟になりますけど、理事長としての抱負はいかがですか。

「先輩たちが培って来てくれた、我孫子ならではの“いい雰囲気”を壊さないようにしたいと思います。クラブハウスの中にもしても、コースにしても、全体に“いい雰囲気”が漂っていれば、皆さん、その雰囲気に同化してくれると思うんです。そうなればいわゆる“変な人”も入ってこれない。というか“変な人”をチェックすることもできると思うわけです」

——“変な人”というのは、例えば暴力団関係の人たちもそのうちなんでしょうか、我孫子の場合はなにか策をたてていますか。

「会員の皆さん全員が“いい雰囲気”を壊さないよう心がけてくれますから、とりたてて策らしいもの

は立てません。メンバ―同伴、あるいは紹介、この原則を守っておけば“変な人”は入ってこないと思ってます。トラブルが起これば、同伴会員なり、紹介会員なりが事後処置を強いられるわけで、そこに自ずと会員同志の自覚も生まれますし、お互いに努力もすると思うんです」

——クラブ運営と会社経営は車の両輪のようなものだと思いますが、我孫子の場合、どんなふうにして両輪のバランスをとっていますか。

「あくまでもクラブ運営が主です。社団法人ですから、利潤をあげる必要はないわけで、コース従業員の人工費やコース管理費など年間の必要経費さえまかなえれば、経営のほうは収支トントンでいいわけです。ですから、従業員の生活を保証してあげて、コース管理も納得できるものにし、そうしたものがクラブ全体の雰囲気づくりにも波及してくるようにしていけばいいと思ってます。ゴルフをやりに来て、ストレスをためて帰るようじや、明日の活力になりませんものね。ルールやマナーにしても、甘すぎてもまずいですが、さりとて他人に対して厳しそうでも

理事長インタビュー

ギスギスしたものが出て、雰囲気が悪くなります。社会的な地位にしても、個々の人間性にしても、さまざまな方達が一緒になって、一日、ゴルフを楽しむわけですから、それに技倆にしてもシングルからハイ・ハンディキャップの方まで非常に幅がありますから、誰もが“いい雰囲気”を壊さないように心がけることではないでしょうか？

——最近、スローブレーで頭を痛めてるコースが多いんですけど……。

「我孫子でもひと頃、問題になったことがあります、このところはスムーズに流れてるようです。多分、来場者の数が一昨年あたりから減ってきたからでしょうね。別にビジター制限を厳しくしたわけではありませんけど、一昨年は雪がよく降りましたし、夏は日照り、その影響で自然に減ったわけです。それ以前は年間4万5千人以上の来場者でしたが、一昨年はたしか4万2千かそこら。昨年も一昨年の後遺症があったのか、4万3千人ほど。日割り平均で10名前後にしかならないんですが、このところ、スローブレーが問題にならなくなったり、来場者の自然減じゃないでしょうかね」

——ビジターとメンバーの来場者比はどうですか。「やはり3分の1がメンバー、3分の2がビジター」というところです。ここ数年、ビジター料金も据置いています」

——ところで、コースのことですが、昭和5年に開場して以来、なにかと手直しをせまられるようなことも出てきたでしょうね。

「ええ、今、問題になっているのはペント・グリーンなんです。最近はどちらでもサンド・グリーンにしているようですが、わたしどものコースもサンドにしようということで、研究を始めているところです。

これもグリーン委員会をはじめ、会員の皆さんの意見を十分に聞いたうえで実行に移そうと思います。我孫子の場合、本グリーンがコウライで、サブがペントなのですが、この際、本グリーンのほうをペントのサンド・グリーンにしたらどうかという意見もあります。ただ、サンドにしますと、ボールがよく止りますよね。ご承知のように、我孫子はさほど距離があるほうではないので、短いアイアンでグリーンを狙うホールがかなりあって、止まりやすくなると、

それだけ難易度も低くなるのではないか、という意見も一方あります。その点、会報などで会員さんはどう考えているか、呼びかけてるわけです。大勢は、サブ・グリーンのほうをペントのサンド・グリーンにして、本グリーンはそのままにしておこう、ということにかたまりつつあります」

——我孫子は赤星六郎さん(初代日本オープン優勝者のアマチュア)の設計で、名コースと言われているわけですが、最近はクラブやボールの性能が良くなってきたことで、設計者が意図したもの、例えばクロスバンカーなどが当初のような役割をしなくなってきた面もあると思いますが、いかがですか。

「われわれ、ロートルはとにかくとして、若い人など、むかしながら越すか越せないか、神経を使ったバンカーを平気でクリアできるようになった。コース改造の問題があるわけですね。そのときに考えなければいけないのは、設計者の“原思想”ではないかと思う。やたらに改造するのではなく、設計者がどういう意図で“そこにバンカーを置いたか”あるいは“そこに木を残したか”ということを考えないとまずい。まあ、赤星さんはお亡くなりになられてるわけですが、赤星さんの“原思想”、そのささやきに耳を傾けることじゃないですかね。このままの“我孫子”をそこなわずに守りつづけるほうがいいのか、ボールやクラブがよくなったのだから“原思想”から見たら、バンカーの位置をずらすなり、増やすなりしたほうがいいのか。非常にむずかしいところです」

——“名画”を傷つけるようなことは誰もしないでしようが、コースの場合は“名画”であると同時に、ゴルファーの技倆を公平にテストする“場”でもあるわけですから、改造するべきか、せざるべきか、悩ましいわけですか。

「ええ、非常に悩ましいです(笑)。しかし問題は会員の皆さんができるか考えておられるかですね。特定の会員が独断で決めるようなことはないですね」

——ところで、理事長ご自身のゴルフはいかがですか。
「むかしはハンディキャップ8までいましたけど、最近は19。トシ(大正2年生まれ)には敵いません。それでも年間70回ぐらいはプレーしています。やはり上手くなりたいと思ってますよ。少額のナッソーでも負ければ口惜しいですものね(笑)」

ルール Q&A

解答者：日本ゴルフ協会規則委員長 浜口五郎

Q-1 ストロークプレーのグリーン上で、球のマークを間違ってバットをしてしまったショート・ホールで、ティ・ショットがワンオンし、球をマークして拾い上げ、球をリプレースするとき、うっかり他のマークの箇所にリプレースしてバットを打ってしました。球はホールには入りませんでした。

誤ったところからワンパットしたそのあの処置を次の3とおりの処置に分けてみます。

(イ)その球は拾い上げず、そのままプレーし、次のパートでホール・インしました。

(ロ)その球を拾い上げ、正しいマークの箇所にリプレースしようとしたとき、同伴者よりそのままホール・アウトしなさいといわれ、拾い上げた球を拾い上げた付近にリプレースして、次のパートでホール・インしました。

(ハ)その球を拾い上げ、正しいマークの箇所にリプレースして、2パートでホール・アウトしました。

A-1 (イ)そのショート・ホールのスコアは5
(ロ)そのショート・ホールのスコアは6
(ハ)そのショート・ホールのスコアは7

「適用できる条項にもとづいて、ドロップやリプレースしたが、そこが誤所であったり、リプレースを要するとき、これをしないで次のストロークをしたとき」誤所のプレーとして2打の罰が課せられます。

また、この誤所からのプレーの大変なことは誤所から打たれた球をそのままプレーして、そのホールを終了しなければいけないことです。

(イ)の処置が、正しいもので、誤所からのプレーの2打罰を付加して、スコアは5となります。

(ロ)の処置は、グリーン上の球をマークしないで拾い上げたので罰1打が付加されます。それに、誤所からのプレーの2打罰が加えられ3打罰で6となります。

(ハ)の処置は、グリーン上の球を拾い上げた罰1打に加え、その箇所へのリプレース違反の罰2打が付加されますが、このリプレースの違反のときは、一般的の罰が課せられて、拾い上げの罰の1打は、追加されません。したがって、拾い上げと、リプレース違反で、2打罰となり、誤所からのプレーの2打罰が加えられ、4打罰で7となります。

参照—規則20-7b(誤所からのプレー)、20-1(球の拾い上げ)、裁定20-7b/2

Q-2 ロストボールと思った球があとでホール内で発見

打ち上げのバー4のホール、ドライバーが良く当たりバンカーを越えたので、2打をスプーンで2オンをねらった。これも会心の当たりで、丘の上でボールが大きくバウンドしたのが見え、ナイス・オンの手ごたえがあった。ところがグリーンに来てみると球は見えず、近くを捜しても見当たらず、3分ほど捜したがあきらめて「紛失球だ」と叫んで第2打を打った地点に戻り、紛失球の罰1打を付加し、第4打目として打ち直しました。これはグリーン手前の高台に止まり、次にウエッジでオンさせ、結局5オン。パットをするとき、キヤディーさんがホールの中に球を発見、紛れもないさきほどのロスト球でした。第2打がカップ・インしたので、このホールのスコアは2のイーグルと大喜びしたのもつかの間、同伴競技者のB君は、イーグルは認めるが、別の球を打ったので、誤球の2打を加えてスコアは4だといい、C君はラウンド中の練習の2打罰を加え4という。D君は、紛失球の宣言をしたので、イーグルは認められず、グリーン上の球をプレーしてホールアウトしなければ失格だというので、グリーン上の球を2パットで沈め、D君説ではスコアは7となりました。このホールのスコアは2、4、7、のどれになりますか。

A-2 このホールのスコアは、イーグルの2です。スプーンで打った2打目がホールに入ったとき、そのホールのプレーが完了しています。規則1条1にゴルフ・ゲームはストロークをすることによってホールに球が入った時成立すると規定されています。ホール・アウト後の誤球のプレーにも、また、練習ストロークなどの規則違反にもなりません。また、「紛失球だ」と叫んだことはロストの宣言だと解釈する人がいますが、ロストに宣言はありません。参考—規則1-1(ゲーム)、27-1(紛失球またはOBの球)、裁定1-1/2、1-1/3、1-1/4、27-13

ルール Q&A

Q-3 「ティ区域外からのプレー」と「誤所からのプレー」「誤球のプレー」との混乱

ティの区域外からティ・ショットされたものは、「誤所からのプレー」のようにおもわれますが、規則の適用が違うのですか、「誤球のプレー」も処置の方法が異なるようですので、この際まとめて説明して下さい。

A-3 ティの区域外からティ・ショットをしてしまったときは、必ず正しいティ区域内から打ち直さなければ競技失格の罰となります。しかし誤所からのプレーのときは、正しい所から打ち直しをすると、沢山の罰が加算されます。誤所から打たれた球はそのまま続けて打って、ホール・アウトしなければなりません。また、誤球のプレーは、正しい球を打ち直しに戻らないと、競技失格の罰となります。

(1)ティ・グラウンドの区域外で打つ。

ストローク・プレーでは、2打罰となり、正しいティ・グラウンドから打ち直しをしなければならず、打ち直しの再プレーをしないで、次に進むと競技失格になります。

区域外からプレーしたストローク数は、スコアに算入しませんから、そのティ・ショットが、OBになってしまっても、何回もストロークしたものでも、2打罰で、打ち直しは、第3打目となるわけです。

1979年迄は、罰なしで、ストローク数だけを加算するルールでしたので、ゴルフ歴の古い方は、勘違いをすることがあります。

マッチ・プレーでは、ティ区域外から打ったプレイヤーに対し、相手は、その球をイン・プレーの球と認めて、続けてプレーさせることもでき、また、罰なしに再プレーさせることもできます。マッチ・プレーで、ティ区域外から打った球が、OBになった場合は、相手は、当然打ち直しの要求をしないともおもわれます。そのときプレイヤーは、OBの球の打ち直しは、球を正しいティ区域から打つことはできません。その正しくない、間違ったところに、球をドロップして打つことになり、ティ・アップもできません。もし、相手がティ区域外からのプレーの打ち直しを要求してくれれば、プレイヤーは、罰な

しに、正しいティ区域から、ティ・アップして、ティ・ショットが第1打目となるわけです。

(2)誤所からのプレー

Q-1の例のように、ドロップやプレースしたところが誤所であったり、リプレースをしなかったときに誤所からのプレーとなります。誤所からのプレーをしたら、その球でホール・アウトしなければなりません。うっかり正しい所に戻してプレーした場合は、拾い上げの1打罰に、リプレースしなかった一般的の罰2打がつきます、この場合は拾い上げの1打罰が追加されることになっているため(20条1項の後段参照)2打罰のみが、付加され、誤所からのプレーによる罰と合計で、4打罰となります。

また、誤所からのプレーは、元の正しい場所よりも、ホールに近づいたり、著しく有利な箇所になった場合は、競技失格の罰になりますから、ウォーター・ハザードのドロップなどは、正確な位置の選定を心がけないといけません。

(3)誤球のプレー

ストローク・プレーで、誤球を打ったときは、誤球を打ったストロークの数は、スコアに算入されず、誤球の罰2打が付加されます。誤球の場合は必ず正球を打ち直さないと競技失格の罰になります。

グリーン上で、球を拾い上げ、キャディさんに軽くトスするように投げた球が、グリーン横の池に入つて紛失した場合など、他の球でパットを続けても、原則的には、競技失格の罰となります。しかしこのような例外的な場合は、委員が罰の軽減ができることがあります。

ハザードでは、球の識別を許されていませんから、誤球をいく度打っても罰はありません。

マッチ・プレーでは、ハザード外で、誤球を打ったとき、そのホールの負。

参考—規則11-3(ティ・グラウンドの区域外で打つ)、3a(マッチ・プレー)、3b(ストローク・プレー)、規則15(誤球のプレー)、-2(マッチ・プレー)、-3(ストローク・プレー)、規則20-1(球の拾い上げ)、規則20-5(前ストロークをした箇所から次のストロークをプレーする場合)、規則20-7(誤所からのプレー)、裁定11-3a/1、11-3b/3、15-1/5、20-7b/2。

実施規定

昭和61年度 関東女子ゴルフ選手権競技実施規定

◎予選	◎決勝
期日 昭和61年5月12日(火)	期日 昭和61年5月28日(水)・29日(木)
開催場所 第1ブロック 日本カントリークラブ 入間郡越生町大字谷138 TEL.0492-92-3331	場所 柏ゴルフ俱楽部 柏市若柴228 TEL.0471-31-3121
1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。	1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。
2.プレーの条件 5月28日(水) 第1ラウンド 18ホール・ストローク・プレー 5月29日(木) 第2ラウンド 18ホール・ストローク・プレー	2.プレーの条件 5月28日(水) 第1ラウンド 18ホール・ストローク・プレー 5月29日(木) 第2ラウンド 18ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於て、サドン・デス方式のプレー・オフにより優勝を決定する。
3.タイの決定 36ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於て、サドン・デス方式のプレー・オフにより優勝を決定する。	3.タイの決定 36ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於て、サドン・デス方式のプレー・オフにより優勝を決定する。
4.参加資格 (1)月例競技(60年4月より61年3月まで) の総合得点10位までの者 (2)関東女子前年度10位までの者 (3)本年度関東女子選手権各ブロック予選通過者	4.参加資格 (1)月例競技(60年4月より61年3月まで) の総合得点10位までの者 (2)関東女子前年度10位までの者 (3)本年度関東女子選手権各ブロック予選通過者
5.賞 優勝者 KGA杯(レプリカ) 2位 金製プローチ 3位 " 4位 " 5位 "	5.賞 優勝者 KGA杯(レプリカ) 2位 金製プローチ 3位 " 4位 " 5位 "
6.参加料 20,000円(但し、決勝シード選手のみ) (注)締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。	6.参加料 20,000円(但し、決勝シード選手のみ) (注)締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。
7.参加申込 参加資格(1)・(2)の該当者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。 予選通過者は決勝に改めて申込みを必要としない。 申込みを受けたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申込むこと。 参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。	7.参加申込 参加資格(1)・(2)の該当者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。 予選通過者は決勝に改めて申込みを必要としない。 申込みを受けたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申込むこと。 参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。
8.申込締切日 昭和61年5月13日(火) 17時必着 締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。	8.申込締切日 昭和61年5月13日(火) 17時必着 締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。
9.指定練習日 5月21日(水)、22日(木) 1人2日間メンバー並み扱いとし、必ず俱楽部(東京事務所03-279-1567)へ予約のこと。	9.指定練習日 5月21日(水)、22日(木) 1人2日間メンバー並み扱いとし、必ず俱楽部(東京事務所03-279-1567)へ予約のこと。

(記) JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベスト・カード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

(備考) 昭和61年度日本女子アマチュア選手権競技(6/18~6/20 千葉カントリークラブ・野田コース)の参加資格は本決勝競技の上位40位まで。

実施規定

昭和61年度 関東アマチュアゴルフ選手権競技実施規定

○予選

期 日 昭和61年5月19日 第1、3ブロック
20日 第2、4ブロック
21日 第5ブロック

開 催 場 所 第1ブロック 桜ヶ丘カントリークラブ
多摩市連光寺2985 TEL0423-75-8811
第2ブロック 小川カントリークラブ
比企郡小川町小川1619 TEL0493-72-1515
第3ブロック 富士小山ゴルフクラブ
駿東郡小山町宇大御神 TEL0556-8-0111
第4ブロック 一の宮カントリー俱楽部
長生郡一宮町東浪見3166 TEL04752-3711
第5ブロック 浅見カントリー俱楽部
東茨城郡内原町杉崎字西平1916-1TEL0292-59-3811

1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.競技の条件 18ホール・ストローク・プレーを行い、各ブロック上位20位タイまでが6月10日から3日間、筑波カントリークラブで開催する決勝競技出場資格を得る。但し、各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変更することがある。

3.参加資格 (1)加盟クラブ会員、月例競技総合得点40位まで(60年4月~61年3月)を除き、JGAハンドイキャップ9までのアマチュア、但し未実施クラブは下記計算により8まで
(2)60年度関東ジュニア選手権2~10位までの者
(3)60年度東日本パブリックアマ2~10位までの者
(4)60年度KGA後援各県アマチュア選手権5位までの者
(5)60年度KGA後援各県オープンのアマチュア5位までの者
(6)関東学生ゴルフ連盟推薦の若干名
(7)KGA特別承認者

4.賞 賞 メダリスト賞
5.参 加 料 予選、決勝を通じ20,000円
参加者はクラブで取りまとめ
「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」に振込のこと。
(注)締切以後は出場を取消しても参加料は返金しない。

6.申込み方法 (1)参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。
(2)連盟加盟クラブ以外の参加者は直接連盟に申込むこと。

7.申込み期日 昭和61年4月21日(月)17時必着
締切以後は理由の如何を問わば受け付けない。

8.指定練習日 指定練習日は各ブロック2回指定日を定め、うちいずれか希望日1回はメンバーや並み扱い、1回は一般ビジター扱いとし、希望日を開催クラブに届け出のこと。ビジター扱い日利用の場合、クラブ側にスタートを予約することが必要だが、出場選手は会員の紹介を必要としない。

(記) JGAハンドイキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベスト・カード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

○決 勝

期 日 昭和61年6月10日(火)、11日(水)、12日(木)
場 所 筑波カントリークラブ
筑波郡伊奈町大字高岡330-2 TEL0297-8-1515

1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。

2.プレーの条件 6月10日(火)
第1ラウンド 18ホール・ストローク・プレー
6月11日(水)
第2ラウンド 18ホール・ストローク・プレー
以上、前半36ホールの65位までが後半2ラウンドに進出。

6月12日(木)
第3・4ラウンド 36ホール・ストローク・プレー

3.タイの決定 72ホールを終り、1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於てサドン・デスマードのプレー・オフにより優勝を決定する。

4.参加資格 (1)月例競技(60年4月より61年3月まで)の総合得点40位までの者
(2)60年度関東アマチュア選手権5位までの者
(3)60年度関東オープン・アマチュア3位までの者
(4)60年度東日本パブリックアマ選手権1位(関東在住)
(5)60年度アジアアマ日本代表(関東在住)
(6)60年度関東ジュニア選手権1位
(7)本年度関東アマチュア選手権各ブロック予選通過者
(8)連盟理事会で特別承認した者

5.賞 勝 優勝者 レプリカ
2.3位 メダル
4.5位 菊皿
全員 予選通過記念品

6.参 加 料 20,000円(但し、決勝シード選手のみ)
(注)締切以後の参加取消しの場合は参加料は返金しない。

7.参 加 申 込 参加資格(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)の該当者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。

予選通過者は決勝に改めて申込みを必要としない。申込みを受けたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申込むこと。

参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込のこと。

8.申込み締切日 昭和61年5月22日(水)17時必着
締切以後は理由の如何を問わば受け付けない。

9.指定練習日 6月3日(火)、4日(水)、5日(木)、6日(金)
1人2日間メンバーや並み扱いとし、予めスタート時間を予約すること。

(備考) 昭和61年度日本アマチュア選手権競技(9/11~13 熊本空港カントリークラブ)の参加資格は本決勝競技の上位30位まで。

実施規定

昭和61年度 関東俱楽部対抗競技実施規定

1.昭和61年度参加希望チームが多数のため、予選を実施する。

- 予選は都府県別を主体として12ブロックに分けて実施し、規定のチーム数に達しない県のクラブは適宜他のブロックに配分する。
- 新規参加希望チームが出た場合は、当該都、県ブロックに配分する。
- 決勝開催クラブは予選競技に出場することはできない。

2.予選競技方法

- 競技方法 18ホール・ストローク・プレー
- チーム構成 Aクラス 満50才以上(競技当日)4名
Bクラス 年令制限なし 4名

計8名出場。但し、選手は学生、未成年者を除く正会員に限る。

3.順位決定

A B両クラスの各ベスト3名、計6名のスコア合計によって決める。
タイ・スコアのときの決定方法
イ. スコア合計がタイのときはBクラス4人目、なおタイの時はAクラス4人目のスコアによって決める。
ロ. なおタイのときはBクラスの個人ベスト・スコアの良い方を上位とし、それもタイのときは以下順次Bクラスのベスト・スコアを比較して決める。

4.予選通過

ブロック出場チーム数が
〃 16チームまでは第2位まで
〃 24チームまでは第3位まで
〃 32チームまでは第4位まで
〃 33チーム以上は第5位まで

(注)参加チーム数の少ない地区は近隣地区に割当てる。

5.出場選手要員

- 選手登録 Aクラス4名以上、Bクラス4名以上を所定の登録選手名簿で登録してください。

(但し、登録選手は他クラブまたは他地区連盟加盟クラブ選手として登録することはできない。)

- 登録締切日 昭和61年3月31日(月)
- 登録期間 1カ年とする。

4.参 加 申 込

- チームの編成 登録選手中よりAクラス4名、Bクラス4名を正選手として編成。

2選手の変更 8名に満たなかった場合は、登録選手から補充、登録選手で満たないときは登録外からも補充できる。

3申込締切日 昭和61年3月31日(月)

4参加料の払込 予選、決勝を通じ1チーム15万円、参加申込みと同時に「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No380」へ振込みのこと。

5.予選競技主催会議

12ブロックにて開催

6.予選競技開催期日

5月26日(月) 大利根	5月27日(火) GMG八王子、千葉新日本、常陽、高崎KG
6月2日(月) GMG八王子、千葉新日本、常陽、高崎KG	3日(火) 廣済堂埼玉、津久井湖、広陵、千成
4日(水) 信州塩瀬高原	4日(水) 信州塩瀬高原
5日(木) 伊豆にらやま	5日(木) 伊豆にらやま
60年9月13日(金) フォレスト	

7.決勝競技方法

- 競技方法 18ホール・ストローク・プレー
- チーム構成 予選規定による。

8.決勝進出チーム選手申込締切日

6月9日(月)

9.決勝進出チーム主催会議

6月16日(月)14時 日本出版クラブ会館

10.決勝競技開催期日

6月30日(月)

11.決勝競技開催コース

茨城ゴルフ俱楽部

- 表彰 (1)各ブロック予選第1位チーム
およびA、B両クラス個人最優秀選手
(2)決勝は優勝、準優勝
およびA、B両クラス個人最優秀選手

13.主催会議の協議事項

- ローカル・ルールの決定
- 指定練習日の決定
- 組合せとスタート時刻の決定
- その他の

競技日程

昭和61年度主催競技実施要領

月	日	曜	競技名	競技場	競	
					方 法	参 加
5	12	月	関東女子予選 第1ブロック 第2ブロック	日本 習志野(クィーン)	18S 18S	1.加盟俱乐部各種女子会員で JGA HDCP 20まで 2.未実施クラブは年間ベスト10スコアで18まで 3.前年度関東ジュニア選手権 3位
5	19	月	関東アマ予選 第1ブロック 第2ブロック 第3ブロック 第4ブロック 第5ブロック	桜ヶ丘 小富士 一の宮 浅見	18S 18S 18S 18S 18S	1.加盟俱乐部会員で JGA HDCP 9まで 2.未実施クラブは年間ベスト10スコアで8まで 3.前年度東日本パブリック・アマ2~10位 4.前年度関東ジュニア 2~10位
5	28	水	関東女子決勝	柏	18S 18S	1.予選通過者 2.関東女子前年度10位
6	2	月	俱楽部対抗予選 東京地区 埼玉地区 千葉地区 神奈川地区 茨城第1地区	G M G 八王子 廣済堂埼玉 千葉新日本 津久井湖 常陽	18S 18S 18S 18S 18S	任意参加 決勝開催クラブは、予選競技に出場することは出来ない。
6	3	火		大利根 広陵	18S 18S	
6	2	月	栃木第1地区	千成	18S	
5	26	月	茨城第2地区	高崎 K G	18S	
6	3	火	栃木第2地区	群馬地区	18S	
3	火	月	静岡地区	伊豆にらやま	18S	
2	月	木	長野地区	信州塩嶺高原	18S	
5	水	木	新潟地区	フォレスト	18S	
60.9	13	金				
6	10	火	関東アマ決勝	筑波	18S 18S 36S	1.予選通過者 2.月例総合成績40位 3.前年度関東アマ5位 4.前年度関東オープン・アマ3位
6	30	月	俱楽部対抗決勝	茨城	18S	1.各ブロック予選通過チーム 2.開催クラブチーム
7	22	火	関東ジュニア予選	ノーザン錦ヶ原	18S 18S 18S	1.競技当日年令満18才までの全日制中・高校生で関東地区在住者(静岡、長野以東新潟以西)
7	30	水	関東ジュニア決勝	武蔵(笹井)	高校男子 18S 36S 54S 中学男子 18S 女子 18S	1.予選通過者 2.前年度男子5位までの者 3.中学、女子は優勝者のみ 4.主催者特別承認者
9	4	木	関東オープン	セントラル(東)	18S 18S 18S 18S	1.アマ 関東アマ40位 前年度アジアアマ日本代表(関東在住)
9	5	火	関東シニア予選 第1ブロック 第2ブロック	足柄森林 取手新日本	18S 18S	1.競技当日満60才以上で JGA HDCP 16まで 2.未実施クラブは年間ベスト10スコアで14まで
9	30	火	関東シニア決勝	箱根	18S 18S	1.予選通過者 2.前年度関東シニア10位
10	1	水	関東 グランド・シニア	東京	18S	1.年齢 70才以上で JGA HDCP 22まで 2.未実施クラブは年間ベスト10スコアで20まで

資 格	技			備 考
	予選通過基準	授賞範囲	参 加 料	
4.関東学連推薦若干名 5.KGA特別承認者	各ブロック60位まで	メダリスト	予選決勝を通じ20,000円	全員記念品
5. KGA後援 県アマ5位(茨城、埼玉、神奈川、静岡) 6.KGA後援 県オープン5位 (新潟、栃木、茨城、埼玉、神奈川) 7.関東学連推薦若干名 8.KGA特別承認者	各ブロック20位まで	メダリスト	予選決勝を通じ20,000円	全員記念品
3.月例総合成績10位	全員 2日間プレー	I ~ 5位	シード選手のみ20,000円	全員記念品
		各ブロック予選優勝チーム個人メダリスト	予選決勝を通じ150,000円	全員参加記念品
5.前年度関東ジュニア1位 6.前年度東日本パブリック・アマ1位 (関東在住) 7.前年度アジアアマ日本代表(関東在住)	前半36S 成績65位までが後半に進出	I ~ 5位	シード選手のみ20,000円	全員予選通過賞として記念品
		優勝、準優勝個人メダリスト	150,000円	
2.主催者特別承認者	高校男子 150人 中学男子 20位 女子 12位	メダリスト	予選決勝を通じ5,000円	
	高校男子前半18Sで80位までが後半進出 中学男子・女子 I ~ 3位	高校男子I ~ 5位 中学男子・女子 I ~ 3位	シード選手のみ5,000円	全員予選通過記念品
2.プロ 関東オープン歴代チャンピオン 関東オープン前年度15位まで 関東プロ協会選考85名 KGA特別承認者	前半36S 60位(含むアマ)	プロ賞金3,000万円 アマ I ~ 3位 入選記念品 プロ・アマNHK杯	加盟 20,000円 加盟外 25,000円	
3.KGA特別承認者	各ブロック60位まで	メダリスト	予選、決勝を通じ20,000円	全員記念品
	全員 2日間プレー	I ~ 5位	シード選手のみ20,000円	全員記念品
3.KGA特別承認者		I ~ 5位	15,000円	全員記念品

総会・理事会・委員会

加盟俱楽部殿 昭和61年1月22日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川護貞

60年度第6回理事会議事録

60年度第6回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和61年1月22日(木)正午

場 所 ホテルニューオータニ

出席者 細川理事長、武内副理事長、福田彰、木村、古茶、古賀、小林甲子郎、松浦、松野、森井、中井、斎藤、佐藤各常務理事、青木、福田富市、河西、北村、小宮山、小山、小林金太郎、小林忠、佐久目、竹井、山崎、山本、吉沢各理事及び三嶋監事

決議事項

1. 第38回通常総会開催に関する件

① 総会開催日決定の件

2月20日(木)午前11時、ホテルニューオータニにて開催することを決定。

② 総会審議事項決定の件

第1号議案

昭和60年度事業報告並びに決算の承認を求むる件

第2号議案

昭和61年度予算案の承認を求むる件

第3号議案

昭和61年2月26日開催の日本ゴルフ協会第37期通常総会に上程される昭和60年度決算の承認を求むる件及び昭和61年度予算案の承認を求むる件に対し、賛、否決定の件

第4号議案

第37期日本ゴルフ協会通常総会に出席する関東ゴルフ連盟代表者指名の件

1号、3号、4号議案は原案通り承認。2号議案支出の部で月例コース使用料値上げが提案承認され、他は原案通り承認された。

2. 委員会報告

① ハンディキャップ委員会

福田委員長より、昨年12月17日の委員会では、JGAハンディキャップシステムを更に推進していくには、未実施クラブに対しペナルティを

課すなどの何らかの強い働きかけも考慮する必要があり、又それと同時にJGAハンディキャップを実施する確たる有益性を広くアピールしていく必要のあること。その一つの方法として各県ごとに、アンダーハンディ競技を段階的に開催し、定着すれば俱楽部対抗競技にも加え、JGAハンディキャップ普及に役立ててはどうかという案も出されたこと、この案は競技委員会にも提案したい。

又、JGAハンディキャップの問題点として、他クラブ認定のJGA方式ハンディキャップを受け入れないというケースについては、全国統一ハンディキャップを目指す上で、大きな障害であるので委員長より加盟クラブ宛に文書で強く要望することとした、等の説明があり全員これを了承した。

② 月例競技委員会

松野委員長より、12月の相模カンツリー俱楽部での月例競技は欠席者が21名と非常に多く、俱楽部側にも多大の迷惑をかけたのでこの点が議題の中心となった。各自の自覚によることだが、ルールを作り61年4月以降実施したいこと、当面委員会の内部的な考えとして「当日欠席者は2回、事前連絡による欠席者は1回の出場停止」とし、欠席届けも代理による通知は一切受理しないこと」といった内容の罰則を考えているとの説明がなされ、全員異議なく了承した。

③ グリーン委員会

古賀委員長より、昨年12月5日に日本出版クラブ会館にて第12回KGAグリーン研究講習会を開催し、日本植物防疫協会の於保信彦先生より「芝草の害虫と有害動物について」、農林水産省林業試験場の遠田暢男先生より「樹木の害虫について」夫々講演して貰い、参加者は140名に達し盛会だったこと、続いて次回は4月に予定しており、テーマは「土壤と肥料」、日時は講師の都合で現在未定であるが、決まり次第お知らせしたいと説明あり、全員了承した。

④ ジュニア委員会

斎藤委員長より、今年春季のジュニア教室は3月26日から28日まで、昨年に引き続いで千葉県

の真名カントリー俱楽部にて開催したい旨の説明が行なわれ、全員異議なくこれを承認した。

⑤ 予算特別委員会

武内委員長より、1月17日に開催された61年度の予算編成の委員会で、60年度決算は原案通り承認されたこと、61年度予算案は支出の部で、月例競技のコース使用料を総額で前年対比250万引き揚げることとし、他は原案通り承認された旨説明あり、全員これを了承した。

3. 新規入会申請クラブの件

武内委員長より、「寄居カントリークラブ」「千葉スプリングスカントリー俱楽部」「セベ・パレステロス・ゴルフクラブ」の3ゴルフ場より加盟申請があり、入会審査委員会で審査したところ、書類も完備しており加盟の資格は十分との説明があり、全員異議なく加盟を承認した。

これで連盟加入クラブは348クラブとなった。

4. その他

武内副理事長より、61年度の特別委員会委員の決定時期に当たるので、従来通り各県より2月中旬頃までに適任者を推薦いただき、その上で編成を考えたいとの発言があった。

以上

昭和61年度第38回通常総会議事録

2月20日(木)午前11時より、東京都千代田区紀尾井町4-1 ホテルニューオータニにおいて開催された表記通常総会は、加盟クラブ348、出席は委任状とも251クラブで下記の通り議決されましたのでご報告申し上げます。

加盟俱楽部殿

昭和61年2月20日

加盟俱楽部殿 昭和61年2月20日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川護貞

61年度第1回理事会議事録

61年度第1回理事会議事録を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和61年2月20日(木)午後12時40分

場 所 ホテルニューオータニ

出席者 細川理事長、武内副理事長、藤原、福田彰、勝又、木村、古茶、古賀、小林甲子郎、松浦、松野、森井、中井、斎藤、佐藤各常務理事、福田富市、浜口、河西、川村、北村、小宮山、小山、小林金太郎、小林忠、松本、佐久目、滝沢、竹井、渡辺、山崎、山本、吉沢各理事及び岩本、三嶋各監事

議事に入る前に、武内副理事長より、横内近雄顧問逝去の報告あり、全員起立、黙祷をささげ故人の冥福を祈った。

理長細川護貞議長となり、本総会は規約に照し適法に成立した旨を宣し、直ちに議案審議に入る。

第1号議案

昭和60年度事業報告、並びに決算の承認を求むる件
岩本勇、三嶋栄、水上達三の3監事を代表して三嶋監事より、理事会より提出された議案内容について諸帳簿、関係書類について精査したところ、何れも適法かつ正確であることを認めた旨、監査報告があり、統いて議長より概略の説

明が行なわれ

原案通り承認可決確定。

第2号議案

昭和61年度予算案の承認を求むる件

予算の概略について武内副理事長より説明が行なわれ

原案通り承認可決確定。

第3号議案

昭和61年2月26日開催の日本ゴルフ協会第37期通常総会に上程される昭和60年度決算の承認を求むる件、及び昭和61年度予算案の承認を求むる件に対し、賛否決定の件

議長より概略の説明が行なわれ

原案通り承認可決確定。

第4号議案

第37期日本ゴルフ協会通常総会に出席する関東ゴルフ連盟代表者指名の件

細川理事長を代表出席者とする事を可決確定。

以上をもって全議事の審議を終了、午前11時31分議長は閉会を宣した。

決議事項**1. 61年度分科委員会委員長委嘱の件**

細川理事長より、各分科委員会は任期1年なので、早急に本年度の委員長を定める必要があるとの説明があり、この選任方法を踏ったところ、満場一致で理事長に一任された。理事長は基本的には昨年の体制で変わらないつもりだが、コース・レート専門委員会をハンディキャップ委員会より独立させたいとの説明があり、1、2の質疑応答のち、全員の賛成を得たので、コース・レート委員会として発足させることとし、統いて61年度委員長を次の通り指名した。

競技委員長 中井文治

ハンディキャップ委員長 福田 彰

月例競技委員長 松野京三

ジュニア委員長 斎藤文志郎

広報委員長 木村襄司

税対策委員長 勝又豊次郎

グリーン委員長 古賀 始

コース選定委員長 武内俊三

入会審査委員長 武内俊三

コース・レート委員長 古茶一之

2. 委員会報告

松野月例委員長より、前回(1月・程ヶ谷)、前々回(12月・相模)で、欠席者が多かったことから、欠席に対するペナルティー問題が討議され、4月より

当日欠席は2回、事前連絡による欠席は1回の出場停止とすること、参加規定も改定の上、全クラブ及び参加選手に配布することにしたいとの説明があり、全員これを了承した。

3. 61年度日本ゴルフ協会特別委員会委員推薦の件
机上配布資料の委員候補者名簿を検討した結果全員異議なく承認可決した。

4. その他

武内副理事長より、今年は役員改選期でないので、分科委員選任決定の件は、委員長会議に一任し、次回理事会で報告如何との提案あり、全員異議なく賛成承認したのち、

委員長会議を3月7日(金正午) JGA会議室で開催することとした。

次回理事会

6月6日(金正午) ホテルニューオータニ

オープン準備委員会

昭和61年1月24日開催

於 JGA会議室

出席者 武内委員長、中井副委員長、森井、古賀、平田、小林、河西、根本、戸張、三輪、大木
各委員

後援のNHK、開催協賛のセントラルゴルフクラブと日本ダンロップとの間でオープン関係の役割分担を確定した。
以上

コース・レート

昭和60年12月17日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
東京国際カントリー倶楽部(11月30日査定)	71.1	68.6	71.6	69.1
スカイウェイカントリークラブ(12月3日査定)	72.3	70.4	71.5	69.9
取手新日本ゴルフ倶楽部(12月4日査定)				
伊奈コース	70.9	68.9	70.0	68.1
国際コース	71.5	69.7	70.2	68.7

昭和61年度分科委員会委員名簿

昭和61年度、第1回委員長会議を3月7日(金) JGA会議室で開催、各分科委員を選任決定した。

●競技委員会

委員長

中井文治(東京)

副委員長

森井誠治(飯能)

河西幹一(セントラル)

古賀始(茨城)

委員

安藤功(東名)

新井昌男(大利根)

新井安寿(武藏)

平田敬量(千葉)

市川一夫(伊香保)

岩橋亨(相模)

川島英雄(高坂)

北村昭夫(東京国際)

小林聰夫(セントラル)

紅露昭通(筑波)

牧野光助(千葉)

蜜沢正吾(松本)

永井正彦(朝霧シャンボレー)

野口正三(桜ヶ丘)

野本俊夫(袖ヶ浦)

大沢正春(鷹之台)

織戸總三郎(愛鷹)

佐野公胤(我孫子)

関根宏一(鷹之台)

田村圭司(川崎国際)

山田八郎(東名)

山根邦夫(戸塚)

出島正男(総武)

土井頴嗣(横浜)

平山誠一(江戸崎)

小池尚(サザンクロス)

小山敏男(青梅)

湊義夫(龍ヶ崎)

大島義治(岡部チサン)

関口良輔(府中)

鈴木辰雄(八王子)

●ハンディキャップ委員会

委員長

福田彰(ルーデンス)

副委員長

吉田友明(嵐山)

渡辺満之助(船橋)

委員

安達惣一(龍ヶ崎)

原田英正(袖ヶ浦)

桑原正明(美野原)

小林金太郎(小田原湯本)

町田孝平(長野)

宮元昭雄(総武)

岡安功(東京よみうり)

斎藤文志郎(フォレスト)

鶴島保(棚倉田舎)

寺田勇(鶴舞)

山田八郎(東名)

山崎亥生年(宍戸国際)

横内宏明(昇仙峡)

吉沢兵左(唐沢)

佃恭男(習志野)

●月例競技委員会

委員長

松野京三(扶桑)

副委員長

山崎宣彦(霞ヶ関)

小室秀夫(東京)

委員

川島英雄(高坂)

中野弘治(芙蓉)

岡田光正(嵐山)

大久保薔(桜ヶ丘)

阪田哲男(袖ヶ浦)

嶋田憲人(青梅)

松岡和歲(東京よみうり)

岡野幸男(日高)

●ジュニア委員会

委員長

斎藤文志郎(フォレスト)

副委員長

大鷲俊朗(紫)

田辺嘉一(飯能)

委員

堀越栄治郎(相模原)

久富章嗣(浅見)

上代修二(中山)

鹿窪一郎(セントラル)

金沢俊彦(東京国際)

小山敏男(青梅)

森肇(筑波)

●コース・レート委員会

委員長

古茶一之(草津)

副委員長

新井安寿(武藏)

委員

北村昭夫(東京国際)

前川武英(成田ハイツリー)

内藤正幸(桜ヶ丘)

昭和61年度分科委員会委員名簿

内藤 正幸(桜ヶ丘)	小松 幹司(袖ヶ浦)	副委員長
西山文敏(大利根)	大河原栄一(日高)	中井文治(東京)
小川透(岡部チサン)	坂本章一(霞ヶ関)	委員
大久保蕃(桜ヶ丘)	小山賢之助(青梅)	藤原正男(諏訪湖)
鷲田憲人(青梅)	森英千葉	福田彰(ルーデンス)
大竹徹(高根)	佐藤辰夫(甲府国際)	河西幹一(セントラル)
顧問		
福田富市(浜松シーサイド)		
金丸富夫(取手新日本)		
●広報委員会		
委員長		
木村襄司(東名)		
委員		
石川博英(嵐山)	佐藤和三郎(宇都宮)	
片山晴美(越生)	古賀始(茨城)	新井安寿(武藏)
杉山通敬(鬼怒川)	副委員長	北村昭夫(東京国際)
安藤功(東名)	小宮山義孝(総武)	前川武英(成田ハイツ)
宮元昭雄(総武)	委員	大沢正春(鷹之台)
佐久目晋三(長岡)		
角田三郎(程ヶ谷)		
●税対策委員会		
委員長		
勝又豊次郎(袖ヶ浦)	平林平治(諏訪湖)	武内俊三(武藏)
副委員長		
松浦均(習志野)	平本精則(東京国際)	勝又一郎(芙蓉)
委員		
相山武夫(横浜)	坂本章一(霞ヶ関)	小谷獨(龍ヶ崎)
北村順則(サザンクロス)	鶴島保(棚倉田舎)	木村襄司(東名)
古茶一之(草津)	山崎亥生(宍戸国際)	大河原栄一(日高)
小宮山義孝(総武)	顧問	藤原正男(諏訪湖)
森井誠治(飯能)	江原薰	福田彰(ルーデンス)
佐久目晋三(長岡)	参与	古茶一之(草津)
佐藤和三郎(宇都宮)	大久保昌	松野京三(扶桑)
安納定緒(宇都宮)	柳久	松浦均(習志野)
林和雄(桜ヶ丘)		森井誠治(飯能)
萩原武(草津)		斎藤文志郎(フォレスト)
平林平治(諏訪湖)		竹井博友(那須チサン)
勝又一郎(芙蓉)		勝又豊次郎(袖ヶ浦)
狐塙敏雄(塩原)		
小谷獨(龍ヶ崎)		
●コース選定委員会		
委員長		
武内俊三(武藏)		

月例競技成績表

[60年12月月例] 参加：男子99名 女子59名 12月9日㈪ 於：相模カンツリー倶楽部

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	五十嵐唯郎	東京五日市	36	36	72
1	大友富雄	塩原	38	34	72
1	高安信行	セントラル	34	38	72
4	小出一允	鈴ヶ崎	36	37	73
4	和田博	東京五日市	37	36	73
(以上入賞)					
6	笠川喜久男	新千葉	37	37	74
6	大竹徹也	高根	39	35	74
6	山内宗広	東京五日市	40	34	74
6	福島治雄	廣済堂埼玉	39	35	74
6	桜本隆	南	39	35	74
6	山田保太郎	桜	37	37	74
6	鷲田憲人	青梅	37	37	74
6	鹿島田明宏	新千葉	39	35	74

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
6	佐々英之	慶応大	38	36	74
6	飯塚千葉	武子	38	36	74
16	中野弘治	美春	35	40	75
16	上代修二	中山	38	37	75
16	白井正衛	新千葉	36	39	75
16	竹林守	浅見	38	37	75
16	奥延通康	茨城	39	36	75
16	加藤雄二	日大	38	37	75
16	藤田雅也	岡部チサン	38	37	75
16	佐久間徹	袖ヶ浦	38	37	75
16	内藤正幸	桜ヶ丘	37	38	75
25	武藤佳資	船橋	39	37	76
25	佐久間馨	東名	40	36	76

コース・レート 71.7

(注) 1月例でプレー・オフの結果、五十嵐唯郎氏が優勝しました。

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	尾関久江	武藏	43	37	80
2	羽賀八重子	大熱海国際	43	39	82
2	長岡洋子	千葉国際	42	40	82
(以上入賞)					
4	吉沢キミ子	セントラル	42	41	83
5	永沢利永子	入間	42	42	84

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
5	甘利容子	千葉廣済堂	40	44	84
5	野上千江里	藤岡	40	44	84
5	中田朱美	袖ヶ浦	43	41	84
9	小笠原みさ子	大厚木	42	43	85
9	渡辺恵子	高根	44	41	85

コース・レート 69.1

[61年1月月例] 参加：男子102名 女子38名 1月28日火 於：程ヶ谷カントリー倶楽部

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	芹沢大介	鳥山城	33	39	72
2	上代修二	中山	36	37	73
2	山内宗広	東京五日市	37	36	73
4	石川凌蔵	鹿沼	36	38	74
4	電ヶ谷修	東名厚木	39	35	74
(以上入賞)					
6	桜本隆	南	38	37	75
6	宮辰夫	習志野	39	36	75
6	田代昌義	新千葉	38	37	75
9	室伏健二	東名	40	36	76
9	加部嗣男	東名	38	38	76
9	根本太満	水戸	38	38	76
12	五十嵐唯郎	東京五日市	37	40	77
12	中野弘治	美	41	36	77

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
12	田辺嘉一	飯能	37	40	77
12	小川透	岡部チサン	41	36	77
12	鹿窪一郎	セントラル	37	40	77
12	森茂男	立川国際	38	39	77
12	藤田達也	岡部チサン	38	39	77
12	笛原孝雄	中津川	38	39	77
20	大友富美	塩原	39	39	78
20	小林勝美	立川国際	38	40	78
20	石井孝一	上総富士	38	40	78
20	小山敏男	青梅	41	37	78
20	紺野照夫	千成	38	40	78
20	塙原喜充	鹿沼	38	40	78
20	中村亮	水戸	41	37	78
20	秋元嘉夫	富士平原	43	35	78

コース・レート 71.4

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	吉沢キミ子	セントラル	39	38	77
2	木村敏美	藤岡	41	37	78
(以上入賞)					
3	田中優子	浅見	41	38	79
4	中田朱美	袖ヶ浦	41	41	82
5	近藤信子	富士ロイヤル	43	41	84
5	渡辺恵子	高根	45	39	84

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
7	鈴木エツ	大妻野	43	42	85
7	尾関久江	武藏	41	44	85
9	長岡洋子	千葉国際	44	42	86
9	中村友美	東千葉	42	44	86
9	正木英子	立川国際	43	43	86
9	小野岡たき子	大妻野	45	41	86

コース・レート 68.8

月例競技成績表

[61年2月月例] 参加: 男子115名 女子53名 2月28日(木) 於: 筑波カントリークラブ

(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	阪田 馨男	袖ヶ浦	35	34	69
2	和田 博	東京五日市	33	38	71
3	中村 清	水戸	36	36	72
4	丸山 茂樹	土浦	36	37	73
5	山内 康広	東京五日市	37	38	75
5	杉田 努	GMGエ王子	37	38	75
(以上入賞)					
7	安間 章浩	東京清	36	40	76
7	堀越 荣治郎	相模原	40	36	76
7	小川 透	岡部チサン	39	37	76
7	中山 章	日大	36	40	76
7	和田 雅美	東京五日市	39	37	76
12	藤田 雅也	岡部チサン	38	39	77
12	得能 三郎	柏木	40	37	77
12	中村 雅明	習志野	40	37	77
12	宝伏 健二	東名	39	38	77

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
12	鹿島田 明宏	新千葉	40	37	77
12	鹿産一郎	セントラル	39	38	77
12	嶋田 審人	青梅	39	38	77
12	藤田 達也	岡部チサン	36	41	77
12	佐藤 友久	唐沢	37	40	77
21	佐久間 駿	東名	41	37	78
21	松岡 和成	東京よみうり	39	39	78
21	小林 勝美	立川国際	39	39	78
21	大友 富雄	塙原	39	39	78
21	電ヶ谷	東名厚木	40	38	78
21	竹林 守	浅見	38	40	78
21	大西 佑三	桜ヶ丘	36	42	78
21	田代 昌義	新千葉	37	41	78
21	得藤 正幸	桜ヶ丘	39	39	78
21	大山 四郎	鎌ヶ谷	38	40	78
21	種口 淳	千成	40	38	78

コース・レート 72.3

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	吉沢 キミ子	セントラル	39	40	79
2	仁科 敏枝	星月・佐野	40	41	81
2	木村 敏美	藤岡	38	43	81
(以上入賞)					
4	加藤 勝栄	平塚富士見	40	42	82
5	湯原 光葉	鳥山城	43	40	83
6	木恵美子	富士	44	40	84

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
7	谷口 典江	河口湖	42	43	85
7	鈴木 エツ	大乗野	45	40	85
7	渡辺 恵子	高根	42	43	85
10	内田 トシ子	新宇都宮	46	40	86
10	近藤 信子	富士ロイヤル	43	43	86
10	猪股 美恵子	上総富士	43	43	86

コース・レート 69.9

お知らせ

俱乐部名称変更のお知らせ

(新) ニューセントラルゴルフ俱乐部 (新) 入間カントリークラブ
 (旧) 日本ゴルフ俱乐部 (旧) 入間カントリー俱乐部
 (新) 浦和新日本ゴルフ場 (新) 一の宮カントリー俱乐部
 (旧) 浦和新日本ゴルフ俱乐部 (旧) 一の宮カントリークラブ
 (新) 伊香保カントリークラブ (新) 富士カントリークラブ
 (旧) 伊香保カントリー俱乐部 (旧) 富士カントリー俱乐部
 (新) 袖ヶ浦カントリー俱乐部 (新) 常總カントリー俱乐部
 (旧) 袖ヶ浦カントリークラブ (旧) 常總カントリークラブ

クラブ代表者変更のお知らせ

クラブ名	クラブ代表者
甲府国際カントリークラブ	(新) 斎藤好次郎
	(旧) 川又英雄
富士カントリークラブ	(新) 石川恒雄
	(旧) 東陽一
セベ・パレステロス・ゴルフクラブ	(新) 鳥井道夫 (新) 手塚寛
千葉スプリングスカントリー俱乐部	(新) 福島謙二 (新) 山本剛
寄居カントリークラブ	(新) 亀井光三 (新) 横田康介
湯田上カントリークラブ	(新) 取邦男
	(旧) 福田茂夫
新水戸カントリークラブ	(新) 富田章夫
	(旧) 土橋正彦
函南ゴルフ俱乐部	(新) 久保田旨一
	(旧) 北里良夫
紫雲ゴルフ俱乐部	(新) 高橋衛
	(旧) 本間茂

理事長変更のお知らせ

かずさカントリークラブ	(新)(代行) 赤星國夫
	(旧) 天野春一
プリンスランドゴルフクラブ	(新) 太田哲男
	(旧) 荒垣秀雄
沼津ゴルフクラブ	(新) 村松貴巳彦
	(旧) 小林忠
鳳凰ゴルフ俱乐部	(新)(代行) 関根明忠
	(旧) 田村巧
ニューセントラルゴルフ俱乐部	(新) 空席
	(旧) 松浦精一
狭山ゴルフクラブ	(新) 笹川堯
	(旧) 空席
川越グリーンクロス	(新) 空席
	(旧) 高島勇
パークレイカントリークラブ	(新) 空席
	(旧) 斎藤昭男
函南ゴルフ俱乐部	(新) 松永太
	(旧) 北里良夫
ニューセント・アンドリュース	(新) 高原宏
ゴルフクラブジャパン	(旧) 山口澄
新宇都宮カントリークラブ	(新) 船田元
	(旧) 空席